

地域国際化推進アドバイザーの派遣

自治体及び地域国際化協会等が地域の多文化共生や国際協力を推進するために実施する研修会や講演会に地域国際化推進アドバイザーを派遣しています。令和4年度は78件、アドバイザーを派遣しました。その中でオンライン派遣は12件でした。

【派遣事例1】

- ・テーマ：災害時の外国人支援概論・災害多言語支援センター運営（令和4年6月）
- ・派遣アドバイザー：柴垣 禎 氏（(特活)多文化共生マネージャー全国協議会）
- ・派遣先：石川県（現地派遣）

① 目的

「市町多文化共生推進会議」において、県内の市町担当者の多文化共生に対する理解を促進し、県・市町の対応状況について情報共有する。

② 内容

- ・災害時の外国人支援と自治体・地域国際化協会の役割、災害多言語支援センター設営マニュアルの作成に関する講演
- ・県及び各市町による意見交換の進行

③ 成果

市町職員が、特に災害時外国人支援に関する対策について、活発に意見交換を行うことができた。市町との多文化共生施策の実施状況の情報共有に役立ったほか、災害時の外国人支援にかかる施策の必要性を理解することにつながった。

【派遣事例2】

- ・テーマ：多文化共生概論・やさしい日本語（令和4年7月）
- ・派遣アドバイザー：岩城 あすか 氏（(公財)箕面市国際交流協会）
- ・派遣先：伊丹市（現地派遣）

① 目的

新規採用職員を対象に、外国人の人権の尊重について理解するとともに、人権の視点から「やさしい日本語」を学ぶ研修を実施する。

② 内容

- ・在留外国人の現況や在留外国にかかる課題などに関する講義
- ・「やさしい日本語」のつくりかたのワークショップの実施

③ 成果

新規採用職員が外国人の人権、多文化共生、やさしい日本語の考え方などをわかりやすく理解できた。アンケートでは、「保育者として、子どもたちが多様性を前向きに受け止め、豊かな人権感覚を育んでいけるよう関わっていきたい」などの感想があがった。

【派遣事例3】

- ・テーマ：多文化共生推進プラン策定への助言・多文化共生のまちづくり（令和4年10月）
- ・派遣アドバイザー：小山 紳一郎 氏（SID ラボ）
- ・派遣先：石岡市（オンライン派遣）

① 目的

石岡市総合計画基本計画の策定を踏まえ、より一層の多文化共生社会の実現を図るため、具体的な関連の施策や目標設定を体系的に整理した行動指針の策定を目的とした市内検討委員会において、協議・策定した指針案に対する専門的な助言をもらう。

② 内容

- ・行動指針案の全体構成に対するアドバイス
- ・具体的な施策、目標設定に対するアドバイス

③ 成果

指針の見せ方や、外国人市民への情報の伝え方、ニーズの掘み方など、具体的な事例や参考資料等、様々な助言を得られた。具体的な施策や目標設定それぞれにもわかりやすく適切な助言を得ることができ、実効性のある指針の策定につながった。

【派遣事例4】

- ・テーマ：外国人相談窓口の運営（令和4年12月）
- ・派遣アドバイザー：矢野 花織 氏（(公財)北九州国際交流協会）
- ・派遣先：鹿児島県国際交流協会（現地派遣）

① 目的

日常業務で在住外国人の相談に対応している担当者のスキル向上を目的に、必要となる知識や効率的な相談手法を習得する研修を実施する。また、外国人相談窓口が日常的に連携する機関等とのネットワークを形成し、相談窓口の機能の強化を図る。

② 内容

在住外国人からの相談の特徴、相談後のフォローについての基礎的な知識、在住外国人の就労支援の現状などにかかる講義

③ 成果

県や市町村の職員・社会福祉関係団体の職員その他様々な受講者（36名）が、複数の事例に基づく具体的な説明により、幅広い相談内容に対する基本的な対応能力を向上できた。また、参加者同士で取り組みの状況などについて意見を交換することで、参加者と講師、参加者同士が思いを共有し、つながる一助となった。

＜令和４年度 地域国際化推進アドバイザー派遣実績（件数）＞

業務区分 派遣先	多文化共生			その他	合計
	日本語学習 やさしい日本語	災害時の 外国人支援	小計		
都道府県	1	3	4	2	6
市区町村	19	10	29	16	45
地域国際化協会	2	5	7	6	13
市町村国際化協会	5	5	10	4	14
合計	27(4)	23(2)	50(6)	28(6)	78(12)

※その他は通訳・翻訳、ボランティア育成など。また、カッコ内はオンライン派遣実績の内数。